

## 新春挨拶

### 新年のご挨拶

一般社団法人 日本作業船協会 会長  
千葉光太郎



会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、元日の能登半島をマグニチュード7.6、最大震度7の巨大地震が襲い、死者行方不明者400名超、住家の全半壊約3万棟の大災害となりました。そして、復旧復興の緒に就いた矢先の9月21日、記録的な大雨により仮設住宅までも床上浸水するという災害が発生してしまいました。短期間の間に2度も激甚な災害に遭われた被災者の皆様の心情は察するに余りあります。心からお見舞いを申し上げる次第です。

さて、当協会は昨年6月に行った総会及び理事会において執行体制を一新し、会長に私が、専務理事に梶原康之がそれぞれ就任いたしました。また、総会後の講演会では、「2024年国際情勢を如何に読むか？」と題し、外交政策研究所代表の宮家邦彦氏から「もしろ」をキーワードにアメリカ大統領選挙の予想やその後の我が国の立ち振る舞い方等について、分かりやすく解説して頂きました。

大接戦という予想のなかで行われた11月の大統領選挙は、トランプ氏の圧勝に終わりました。民主党政権下でのインフレ、生活苦に対する国民の不満が大きかったようです。一方、国内では、裏金問題に端を発した総選挙が10月に行われましたが、自民党に対する国民の審判は非常に厳しいものでした。今後、与野党は「寛容と忍耐」、「責任と知恵」をもって話し合う必要があります。国民の負託に応じて「国が平和で、国民生活が良くなっていく（石破首相）」政治を行うことを期待したいと思います。

いずれにせよ少数与党で非常に難しい政治情勢が予想されるなか、今夏には参議院議員選挙が行われます。

当協会としては、比例代表（全国区）に国土交通省出身で交通運輸・観光分野に精通した「しげもとまもる（繁本護）」氏を推薦しております。会員の皆様には何卒ご理解を賜りますとともに、業界発展のため力強いご支援をお願いいたします。

ここ数年、地球温暖化で毎年のように猛暑の夏が続いています。我が国は、2030年度において温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指しています。港湾工事から排出されるCO<sub>2</sub>は、約7割が鋼材、セメント等の材料由来、残り3割が作業船の燃料由来です。港湾における温暖化対策として脱炭素の燃料転換が急がれるところです。これを受け、当協会では昨年8月に、GHG削減動向と燃料転換への対応、船用アンモニア燃料DFエンジン等に関する技術講演会を開催いたしました。また、国土交通省港湾局では令和3年度より「港湾工事における二酸化炭素排出量削減に向けた検討WG」を設けております。当協会としてもこれまで以上に協力・連携させて頂く所存であります。

自主研究につきましては、「マイクロプラスチック回収・処理技術の調査研究」を引き続き実施するとともに、今年度より新たに「次世代ドラッグサクシオン浚渫船の建造技術」に着手することにいたしております。また、8月には現有作業船一覧2025版を発刊する予定です。

本年も当協会は、国内外で蓄積してきた技術と経験を活かして、作業船及び関連技術の発展に寄与してまいります。会員の皆様、国土交通省ならびに自治体のご指導、ご支援を重ねてお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様のご多幸と益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。